

第3学年 国語科学習指導案

日 時 平成28年11月18日(金) 5校時

児 童 男子5名 女子5名 計10名

指導者 加賀谷 良 嗣

- 1 単元名 『説明のしかたについて話し合う』
教材名 『すがたをかえる大豆』 (光村図書 3年下)

2 身に付けさせたい力及び言語活動構想

【児童の実態】

- 文章全体について書かれてある事柄について順序を追って読む力が徐々に身に付いてきた。
- 新聞等から内容を読み取る力が身に付いてきた。
- 友達と意見を交流することに徐々に慣れてきた。
- 語のまとまりや言葉の響きに気を付けて文を読めない児童がいる。
- 段落に書かれてある大切なこと、及び大体をおさえることができない児童がいる。
- 目的に沿って読み、大事な言葉を書き抜いたりまとめたりすることが難しい児童がいる。

【身に付けさせたい力】

- ◎中心となる語や文を捉え、段落相互の関係を考えながら、文章の内容を的確に理解することができる。(読むことイ)
- 内容を大きくまとめたり、必要なところは細かい点に注意したりしながら読むことができる。(読むことエ)
- ・内容の中心がよくわかるように音読できる。(読むことア)
- ・文中の語句について、国語辞典を利用して調べることができる。(伝国イ)

【言語活動】

- ・『分かりやすい説明の工夫を見付け、工夫メモにまとめよう!!』

言語活動例イ

3 単元について

(1) 言語活動の特徴と身に付けさせたい力との関係

教材文『すがたをかえる大豆』は、身近な植物である大豆が、様々な工夫によって姿を変え、様々な食品になっていることについて具体例を挙げながら説明してある。この教材文を通して、説明の中心となる文を見付けたり、筆者の説明の仕方の工夫に気付いたりすることができるように設定されている。次単元では『食べ物のひみつを教えます』という教材が記されており、『すがたをかえる大豆』で学習した説明の仕方の工夫を生かして自分が調べたいことを文章に書くという配列がなされている。

本単元で身に付けさせたい力は『中心となる語や文を捉え、段落相互の関係を考えながら、文章の内容を的確に理解する力』、『内容を大きくまとめたり、必要なところは細かい点に注意したりしながら読む力』、『内容の中心がよく分かるように音読する力』、『文中の語句について、国語辞典を利用して調べる力』の4つである。そこで、本単元の言語活動に『分かりやすい説明の工夫を見付け、工夫メモにまとめよう!!』を位置付けた。この言語活動は、分かりやすい説明の工夫の仕方について考えたり、理解を深めたりすることに効果的であると共に、話し合いの場で発言の根拠になると考える。よって、3学年の説明文の指導事項である『目的に応じて、中心となる語や文をとらえて段落相互の関係や事実と意見との関係を考え、文章を読むこと』(読むことイ)を実現するのに有効であると考え。

(2) 指導にあたって

本教材は、大豆をおいしく食べるための工夫を5つの例の中で説明している典型的な解説型の文章である。まずは、『初め』・『中』・『終わり』の全体の組み立てを読み取らせたい(工夫①文章全体の組み立て)。次に、『中』の各段落は並列の関係にあり、各段落の最初の文が説明の中心になることに着目させたい(工夫②各段落の組み立て)。また、接続詞等に注目して、事例(おいしく食べる工夫)を読み取らせることで、段落相互の関係を捉えさせたい。そして、事例が提示される順番に着目させることで、説明の仕方の工夫にも気付かせたい(工夫③段落相互の関係)。さらに、本教材を読むと、文章の説明だけでは分かりにくい箇所を、写真で理解を補っている事に気付かせたい(工夫④写真を使つての説明)。そして、次の『食べ物のひみつを教えます』の単元で、絵や写真を用いてまとめることを視野に入れつつ、視覚資料の使い方の一つとして活用したい。

第一次では、大豆を使った食品の実物や写真を見て大豆についてイメージをもたせるとともに、総合的な学習の時間で学んだことも想起させ、食品を手がかりに内容の大体を読ませる。そして、最終的に『分かりやすい説明の工夫を見付け、工夫メモにまとめよう!!』という学習課題を設定する。

第二次では、説明の工夫について確実に読み取らせていく。まず、PCを活用したり、シート①を活用したりして、段落分けを確かめ、文章全体の組み立て(工夫①)を捉えさせる。次に『初め』と『終わり』を読んで内容を確かめ、『問い』がないことについて考え、『初め』の役割と文章全体の話題を捉えさせたい。さらに、事例や言葉に注意して『中』を詳しく読み、音読を通して中心文を捉えたり、事例の順番を考えたり(工夫②③)して内容をまとめさせたい。そこで、指導の工夫として、各段落で提示されている大豆を食べやすくする工夫について、どんな工夫があり、どんな食品になっているかを、サイドラインや囲み、色分けをしながら読ませ、シート②を用いて中心文や大切な言葉を把握させたい。さらに、シート③でそれぞれの段落が何故このような順番で並んでいるのか筆者の意図を考えさせたい。その他にも写真の使い方(工夫④)が効果的であることを実感させたい。

第三次では、『工夫メモ』を作成させたい。第二次で学習してきた分かりやすい説明の工夫について整理し、各自『工夫メモ』を完成させる。それを根拠に各グループで話し合い、分かりやすい説明の工夫について交流させることで、次単元『食べ物のひみつを教えます』の言語活動『食べ物のひみつ新聞を作ろう!!』への布石としたい。

①確かな『読む力』を育てるための指導の工夫

- ・ PC を活用し、『初め』・『中』・『終わり』の文章構成や『段落』を視覚的に理解できる。
- ・ 各段落の中心文には赤サイドライン，食品には□をつけさせることで要点を明確にさせる。
- ・ 『中』の順序を表す言葉に青サイドラインを引かせることで，段落相互の関係や文章の構成を捉えやすくする。
- ・ 『中』の印を付けた要点をシートに抽出することで，各段落の内容を確実に読み取り，説明の仕方の工夫を見付けることができる。
- ・ 食品の作り方に波線を引かせることで，読み手が分かりやすい物から順に並べている事を理解することができる。
- ・ ペアで段落読みを交互にさせることで文章構成を意識させることができる。その際，サイドライン等印を付けたところを強く読むことで説明の工夫を意識させることができる
- ・ 国語辞典で意味の分からない言葉を調べさせ，付箋紙を貼り，シートへ書き抜くことで語句の意味の理解の定着を図ることができる。

②個への支援

- ・ 中心文を見つけられない，シートに要点を書き出せない児童には，文末の『～のくふう』に着目させたり，各段落の文章の組み立ての工夫について PC を補助的に活用し視覚的に把握させたりする。
- ・ 工夫メモを作れない児童には，二次の3枚のシートを活用すること，グループでの交流を参考にさせる。

4 単元の目標と評価規準

【単元の目標】

- 文章の内容に関心をもち，文章構成を理解しながら読もうとする。【関意態】
- 中心になる文を確かめながら，説明されていることを整理することができる。【読むこと】
- 構成や具体例に注意し，整理しながら適切に内容をまとめることができる。【読むこと】
- 中心となる文や大事な言葉に気をつけ，内容が伝わるように音読できる。【読むこと】
- 文章中の表現や言葉に注目し，国語辞典を使って調べることができる。【言語事項】

【評価規準】

| 関意態 | 読む能力 | 言語について知識・理解・技能 |
|------------------------------------|---|--|
| ・ 文章の内容に関心をもち，文章構成を理解しながら読もうとしている。 | ・ 中心になる文を確かめながら，説明されていることを整理している。(1)イ ・ 構成や具体例に注意し，整理しながら適切に内容をまとめている。(1)エ ・ 中心となる文や大事な言葉に気をつけ，内容が伝わるように音読している。(1)ア | ・ 文章中の表現や言葉に注目し，国語辞典を使って調べている (1)イ(カ) |

5 単元の指導計画(6時間)

| 次 時 | 主な学習活動 | 言語活動に関する留意点 | 評価規準【評価方法】 |
|----------------------------|---|--|--|
| 第一次 1 | ①大豆を使った食品について考える。 ②『すがたをかえる大豆』を通読して大まかな内容を捉える。 ③学習課題(第三次の言語活動)を確かめ、学習計画を立てて見通しを持つ。 | ①大豆を使った食品の実物や写真を見せて、大豆についてイメージをもたせる。 ②食品を手掛かりに内容の大体を読ませる。 ③言語活動までの見通しを持たせる。また、第三次、次単元を見通して並行読書をスタートさせる。 | 【関】大豆が様々な食品になることを知り、説明の工夫を考えようとしている。<発言> 【読】文章を通読して大まかな内容を捉えている。<発言・ノート> |
| 第二次 2 3 4 (本時) | ④段落分けを確かめ、文章全体の組み立てを捉える。 ⑤『初め』と『終わり』を読んで、内容を確認する。 ⑥『問い』がないことについて考え、『初め』の役割と文章全体の話題を捉える。 | ④それぞれの段落に出てくる食品をまとめ、『初め』・『中』・『終わり』に分ける。『中』で5つの事例を挙げている点に着目させる。 ※工夫①文章全体の組み立て ⑥隠れた『問い』について考えることで、文章全体の話題を捉えて読み進めさせる。 | 【読】『初め』・『中』・『終わり』の全体の文章構成を捉えている。<発言・シート①> 【読】『問い』について考えることで話題を適切に捉え、各段落の内容をまとめている。<発言・ノート> 【言】文章中の言語に注目し、国語辞典を使って調べている。<ノート> |
| | ⑦事例や言葉に注意して『中』を詳しく読み、内容をまとめる。 ⑧音読を通して中心文を捉え、詳しく読む。 | ⑦大豆を加工する時に使われる言葉に注意しながら、各段落でどんな工夫が書いてあるかを捉えさせる。 ※工夫②各段落の文章の組み立て | 【読】段落の中心となる文を捉えている。<教科書・シート②> 【読】内容が伝わるように工夫して音読している。<音読> |
| | ⑨事例の説明の順番を考え、詳しく読む。 ⑩写真の使い方について考える。 | ⑨事例を挙げる順番も文章の工夫であることを捉えさせる。 ※工夫③段落相互の関係 ⑩P38『絵や写真を使って説明する』を読んで、写真の使われ方を整理させる。 ※工夫④写真と対応させて説明 | 【読】『中』の段落の内容を読み取り、説明の仕方の工夫を見つけている。<シート③> |
| 第三次 5 6 | ⑪第二次のシート①, ②, ③をもとに『すがたをかえる大豆』の説明の工夫を話し合い、工夫メモにまとめる。 ⑫自分の選んだ本の他の食べ物を扱った本の内容や説明の工夫について、考える。 ⑬単元の学習を振り返る。 | ⑪ここまで文章を読んで考えてきた工夫を、グループで話し合いながら確認し、まとめ、次単元に生かせるよう見通しを持たせる。 工夫①文章全体の組み立て 工夫②各段落の文章の組み立て 工夫③段落相互の関係 工夫④写真を使って説明 ⑫『すがたをかえる大豆』で行われていた説明の工夫を参考にさせる。 | 【読】説明の仕方の工夫について、工夫メモにまとめている。<工夫メモ> 【読】他の本を読んで、説明の工夫を見つけている。<発言・工夫メモ> |

6 本時の学習

(1) 本時の目標

『中』の段落の内容を読み取り、説明の仕方の工夫を見つけることができる。

(2) 本時の評価規準

『中』の段落の内容を読み取り、説明の仕方の工夫を見つけている。

(3) 展開

| 段階 | 活動内容 | 手立て(○)及び留意点(※) ◇評価規準 |
|-----------------|--------------------------------|---|
| 導入(5) | 1 前時を想起する。 | ○『中』の各段落を教科書を見ないで並べさせてみる。 ○『中』の内容を読み取り、中心文と食品を見つけたことを想起させる。 ※前時の工夫(各段落の文章の組み立て、接続詞等を確認)を確認する。 |
| | 2 本時の課題を確認する。 | ○何故、筆者は『中』の部分をおこのような順番に並べたか関心を持たせる。 |
| 説明の仕方の工夫を見つけよう! | | |
| 展開(35) | 3 学習場面を音読する。 | ○『中』の場面、第3段落～第7段落をグループで交互に段落読みさせる。 |
| | 4 筆者の事例の挙げ方について考える。 | ○提示例と筆者の事例の挙げ方を比較し、何故、筆者の並びの方がいいのか、その工夫を考えさせる。〈シート③〉 ※好きな順番や、3段落と6段落を入れ替えたり、5段落と6段落を入れ替えたりしてもよいか考えさせる。 |
| | 5 『説明の仕方の工夫』について全体で確認しシートにまとめる | ○作り方に目を向けさせ波線を引かせる。 ※大豆の姿変化にも目を向かせる。 |
| | 6 写真の使い方について考える | ○各グループでシート③をもとに自分の考えを交流し合わせる。 ○工夫についてまとめさせる。 ※手を加える回数が少なく分かりやすい順、大豆の姿の変化が少ない順、違う食品にするために必要な時間等に気付かせる。 |
| | 7 音読する。 | ○『中』の段落の内容を読み取り、説明の仕方の工夫を見つけている。〈シート③〉 ○P38『絵や写真を使って説明する』を読んで、写真の使われ方を整理させる。 ※写真や絵があった方が効果的なものを紹介し、実感させる。 |
| 終末(5) | 8 本時のまとめと振り返り | ○各自、内容が伝わるように音読をさせる。 ※内容がよく伝わるためには、どの文や言葉を強くはつきり読めばいいか各グループで確認させてから読ませる。 |
| | 9 次時の確認 | ○説明の工夫を確認し、本時の学習を振り返らせる。 ○次時は今までの工夫を確認し、『工夫メモ』を作ることを知らせる。 |

読む人が分かりやすいようにならべている。

7 板書計画

